九州糖尿病看護スキルアップセミナーin 熊本
プログラム

（実質研修時間　6時間00分）

日　時　平成23年12月18日（日）9：30〜16：30
会　場　グランメッセ熊本　2F　大会議室
　　　　熊本県上益城郡益城町福富1010
定　員　140名
参加費　2000円（弁当代、後抄録代として）

1.　開会の辞 9：30〜9：35

［午前の部］

2.　実習＆グループディスカッション　9：35〜11：30（1時間55分）

「高齢者の療養生活の疑似体験」

ファシリテーター　陣内病院　総師長　川口はるみ（看護師）
熊本第一病院　外来師長　野口　恵子（看護師）
くまもと成仁病院　外来師長　村上　元子（看護師）

熊本県身体障がい者福祉センターより高齢者体験キットを借用し、参加者全員で装着体験。体験キット装着状態での内服薬準備、血糖測定、インスリン注射手技を体験し、日頃の看護・指導内容を高齢患者の立場から見直し、問題を抽出するグループディスカッションを実施。プログラム途中に、高齢者糖尿病の看護において留意していただきたいポイントとして、下記3つの情報提供を実施し、実践的な考察を深める。

情報提供①（15分間）「高齢者の身体稼働域」（高齢者キット装着説明）
講師　くまもと成仁病院　太田　研典（理学療法士）

情報提供②（15分間）「ロービジョン者の血糖測定、自己注射について」
講師　陣内病院　西村　博之（薬剤師）
陣内病院　井島　廣子（臨床検査技師）

情報提供③（15分間）「高齢者の聴覚について」
講師　陣内病院　看護師　川口はるみ（看護師）

3. 講座　11：30〜13：00（1時間30分）

「認知症サポーター養成講座」

講師　認知症対応強化型・熊本市中央4地域包括支援センター　やすらぎの森
牛島太一郎（社会福祉士）

認知症治療のベーシックを学び、認知症のある高齢者糖尿病の看護体制構築上活用できる社会資源と、地域包括支援センターの機能を学ぶ。

［昼食／休憩］13：00〜13：50　高齢者向け宅配弁当の体験食（宅配クック123）

熊本で、高齢者の見守り（緊急時の通報など）を行なっている高齢者用宅配弁当の体験食です。①普通食、②やわらか食、③カロリー・塩分調整食、④塩分控えめ・低たんぱく食、⑤透析食の5種類から1つをお選びいただきます。

［午後の部］

4．教育講演　13：50〜15：20（1時間30分）

座長　医療法人社団陣内会　陣内病院　理事長　陣内　冨男（糖尿病専門医）

「熊本県認知症疾患医療センターのとりくみ」

講師　熊本大学大学院生命科学研究部　脳機能病態学分野（神経精神科）

教授　池田　学　先生

熊本発の認知症医療モデルである「熊本県認知症疾患医療センターのとりくみ」と、基礎疾患として糖尿病のある方の認知症治療と看護のあり方について、最新の情報をレクチャーいただきます。

5. ディスカッション 15：20〜16：25（65分）

「高齢・認知症患者の糖尿病治療をどう支える？」

１日のプログラムを踏まえて、課題設定と具体的な対応策を検討し、参加者が現場で直面している高齢糖尿病患者、さらには認知症発症時の看護体制構築のあり方に関する問題解決を行ないます。

ファシリテーター　陣内病院　総師長　川口はるみ（看護師）
熊本第一病院　外来師長　野口　恵子（看護師）
くまもと成仁病院　外来師長　村上　元子（看護師）

6. **閉会の辞** 16：25〜16：30

■研修会の問合せ先
陣内病院　秘書　永原清香
TEL 096-363-0011（陣内病院内線 402）　FAX 096-364-2647
E-mail dm-net2008@ymt.bbiq.jp